

災害時の代行輸送力強化に向けた内航船の共同発注について

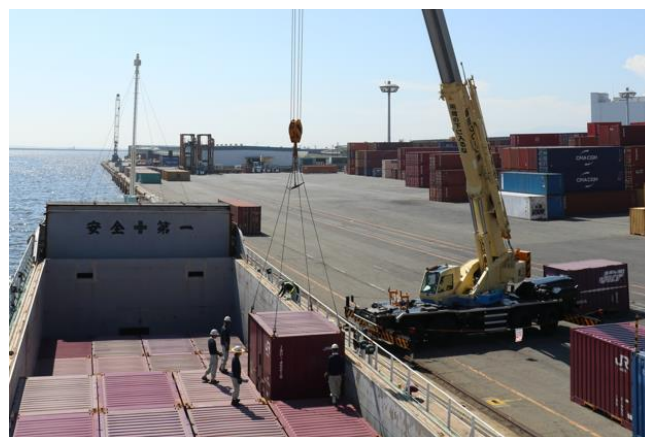
センコーグループホールディングス株式会社（本社：東京都江東区、社長：福田泰久、以下「センコー」）と日本貨物鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：犬飼新、以下「JR貨物」）は、総トン数499トン型貨物船（以下「本船」）を共同で1隻新造し、保有することといたしました。このたび、造船契約を締結しましたのでお知らせいたします。

この取組みを通じ、センコーは、重要な輸送モードである貨物鉄道輸送を構成する利用運送事業者の一員として、安定輸送に貢献して参ります。JR貨物は、頻発する自然災害への対策強化に向けて輸送モードの複線化を図り、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」に掲げる「安心・安全な物流サービス」の実現に努めて参ります。

なお、本船の竣工は2024年春を予定しております。竣工後、災害代行輸送に本船を投入する場合は、JR貨物が各利用運送事業者よりお引き受けした貨物を輸送します。



船舶外観イメージ



災害時船舶代行輸送イメージ

1. 本船の概要

(1) 船体寸法	・長さ（垂線間長） 70.00メートル ・幅（型） 12.50メートル ・深さ（型） 7.00メートル ・計画満載喫水（型） 4.059メートル
(2) 総トン数	499トン
(3) 載貨重量トン数	1,600トン
(4) 貨物容積	2,476立方メートル (12フィートコンテナ80個積載予定)
(5) 搭載貨物	コンテナ、一般雑貨、バラ貨物、鋼材類他
(6) 共同保有比率	センコーグループ 70% JR貨物 30%
(7) 竣工時期	2024年春（予定）

上記概要は現時点の予定であり、変更となる可能性があります。

2. 本船の活用イメージ

平常時は本船をセンコー海運グループにて運航します。自然災害等が発生し、貨物鉄道のネットワークが寸断された場合には、JR貨物が実施する災害代行輸送に本船を投入し、各利用運送事業者よりお引き受けした貨物を輸送します。これにより貨物列車の不通区間をバイパスする輸送サービスを継続することができ、お客様に安心してご利用いただくことが可能となります。